

新しい生活が始まって一か月が経ちました

田丸 あけみ

4月から新しく入園した子ども達は、泣く姿も多く、保護者の方も後ろ髪を引かれる思いだったと思います。しかし、週を重ねる毎に保育園や保育士にも慣れ、朝、泣き別れをしてもしばらくすると、気持ちを切り替え遊ぶ姿も見られるようになってきました。一つクラスが上がった子ども達も、新しい担任、新しい部屋に少しずつ慣れてきた様子で、毎日元気に園生活を送っています。

今月の巻頭は、「一日保育士体験」と「アトムに関わって頂いているボランティアの方々」の紹介をします。

★「一日保育士体験」を随時募集しています。

「一日保育士体験」とは、保護者の方が、都合のよい日を選び、クラスに入り、保育士の体験をしていただくという内容です。保育士のお手伝いをして下さっても、子ども達の様子を見るだけでも、どちらでも結構です。保育園で子ども達がどのような生活をしているか知る機会にもなると思います。

子ども達は、保育園という小さな社会の中で、共に刺激しあい、育ち合っています。「人は人の中で育つのだ」と子ども達の逞しい姿を見ながら日々感じています。

そして、子どもも一人の人間として“自分の気持ち”をしっかりと持って、その放つエネルギーも素晴らしいです。子ども時代を子どもらしく過ごす事。とことん自己表現させてあげる事をアトムで存分に保障してあげたいと思っています。保育の仕事は本当に奥が深く、私自身も子ども達から教えられる事がたくさんあります。ぜひ保育士体験に参加して子ども達の小さな社会を覗いてみて下さい。面白い発見もたくさんあると思います。

一日、半日、数時間でも可能です。もちろん強制ではありません。希望する方のみです。月曜日から土曜日の間で、我が子が在籍しているクラスでもいいですし、在籍していないクラスに入って頂いても構いません。保育士体験を希望する保護者の方は、申し込み用紙をお渡ししますので、担任か事務室までお知らせください。

《アトムに関わって頂いている地域ボランティアの方々》

アトムの子供達は、地域の方々をはじめ、たくさんのボランティアの方々に関わっていただいています。ご紹介させていただきます。

5歳児の子ども達にノルディックウォーキングを教える下さるノルディック・ウォーク連盟の方々。熊取文庫連絡協議会の方々には、毎週火曜日に行っているアトム文庫やお話しキャラバンでお世話になっています。OB保護者の西村さん、大石さんには、5歳児の子ども達に手話を教えてくれています。そして、リトミックを教えてくれているOB保護者の田中さん（のり先生）。毎年、畑で芋ほり体験をさせていただきます中尾さん。

その他にも地域の方々には、花壇の手入れをして頂いたり、アトム周辺の草引きをしていただいたり、園庭のおもちゃの修理をしていただいたりと、本当にたくさんの方々にお世話になっています。今年度もどうぞよろしくお願いたします。

今年も、5月7、8日の両日、消防署の方に来ていただき、全職員対象に、救命救急講習会を行います。講習会の中で、AEDの使い方も学びます。アトムの事務室に、AEDを置いています。アトム周辺で、もしもの事が起こった場合、アトムにAEDがある事を保護者の方も覚えておいてください。